

各 位

映画「教育と愛国」  
日本映画ペンクラブ・文化映画部門でベスト1

日本映画ペンクラブは、映画などの映像に関する評論・報道・出版・放送・制作、マルチメディアなどに従事するプロフェッショナルで、映像表現について責任をもって自分の意見を表明しようとする人が、映像文化の発展と表現の自由に寄与するとともに、会員相互の親睦、福祉をはかることを目的とする任意団体で、1959年に創立されました。

日本映画ペンクラブは毎年、会員がその年に公開された日本映画、外国映画、文化映画のベスト5を選出していて、2022年の文化映画の「ベスト1」にMBSが製作したドキュメンタリー映画「教育と愛国」が選ばれました。

作品名；ドキュメンタリー映画「教育と愛国」

さいか ひさよ

監督；齊加 尚代(毎日放送報道情報局番組センター)

作品概要；

政治が一線を超えて教科書に介入する事実を丹念に取材し、教育と学問に迫る危機を描いた映画「教育と愛国」は、大阪の教育現場を長く取材してきた齊加監督が、毎日放送のドキュメンタリー番組「映像」シリーズの「教育と愛国～教科書でいま何が起きているのか」に追加取材し再構成したものです。2017年放送のテレビ版はギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞、昨年公開した映画版は観客動員40,000人を超え、社会派ドキュメンタリーとして異例の大ヒットを記録しました。優れた報道活動を顕彰するJ C J大賞にも選ばれています。日本だけでなく激動する世界でいま問われている「教育と国家の関係」を考える上でバイブルといえる存在になりつつあります。

以上  
本件問い合わせ先: 広報部